

外国語活動 単元指導案

高槻市立上牧小学校

指導者 HRT : 吉田 友美

AET : ティモシー・マリー

1. 日時 平成25年11月22日(金) (14:15~15:00)

2. 学級の様子 第5学年1組 男子:16名、女子:18名、計:34名

学習にも係活動にも意欲を持ち取り組もうとする児童が多い学年である。比較的男女の仲がよく、対等に話したり注意したりする様子が見られる。クラスには、総合学習等で調べることや、お互いに話し合うことを楽しめる雰囲気があるので、全体的に明るく真面目に取り組んでいる。休み時間になると、多くの児童が外で遊具を使い、遊んでいる。また、読書が好きな児童も多く、ほとんどの時間を読書に費やす児童も数人いる。一方で、1年生からずっと1クラスで過ごしており、人間関係が固定化している。特に女子は幼稚園からの友達関係で固定したグループがあり、グループ決めや自由な交流をすると、同じメンバーのみの関わりになることも多い。

外国語活動では、毎回、オーストラリアの歌とダンスを実施している。ダンスをするのが恥ずかしそうな児童も見られるが、みんな楽しそうに取り組んでいる。一方で、意欲の低い児童は、ゲームのやり方等がわからない時は参加できないことや、盛り上がりすぎると羽目を外すこともある。クラス全体では、AETとのコミュニケーションを楽しむ雰囲気があり、子どもたちは英語を使って話をしたいという気持ちをもっている。

3. 単元: Hi, friends! 1 「Lesson7 What's this? ~クイズ大会をしよう~」

本時: 4時間目 「自分たちで作成したクイズをお互いに出題しよう」

4. つけたい力

作成したクイズを出したり、答えたりしながら、友だちと積極的にコミュニケーションを取ろうとする。

5. 単元の学習目標

- ・自分たちで作成したクイズを出し合いながら、友だちと積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
- ・“What's this?” “It's a”という表現を用いて、友だちに尋ねたり答えたりする。
- ・身の回りにある言葉について、日本語と英語の違いや同じところから、言葉の面白さに気付く。

6. 主な言語材料

What's this? It's a

triangle, fish, recorder, glove, beaker, bird, textbook, cap, map, triangle, apple, cup, microscope, flying pan, shoe, notebook, eraser, piano, mat, bat, ruler, globe, tomato, eggplant, brush, flower

7. 評価規準

(1)コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	(2)外国語への慣れ親しみ	(3)言語や文化に関する気付き
自分たちで作成したクイズを出し合いながら、友だちと積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	“What's this?” “It's a”という表現を使って、友だちに尋ねたり答えたりしている。	身の回りのさまざまな物の言い方を知り、日本語と英語の違いや共通点から言葉の面白さに気付いている。

8. 単元の活動計画 (全4時間)

時	目標と主な学習活動 (◆は、評価をする学習活動)	評価のポイント	評価の重点		
			(1)	(2)	(3)
1	「身の回りの英語を知ろう」 ①あいさつ ②歌・ダンス ③めあての確認 ◆④聞いてみよう (Let's Listen p.26,27) ⑤指さしゲーム ⑥チャンツ ⑦ふり返り	身の回りにあるさまざまな英語を知り、日本語と英語の違いや似ているところについて、気付いたことを発言したり交流したりしている様子を観察する。			●
2	「いろいろなクイズに答えよう」 ①あいさつ ②歌・ダンス ③めあての確認 ④チャンツ ⑤いろいろなクイズに答えよう (シルエット・クイズ、漢字クイズ、スリーヒント・クイズ、ブラックボックス・クイズ) ⑥ふり返り	/			
3	「ペアでクイズを出し合おう」 ①あいさつ ②歌・ダンス ③めあての確認 ④チャンツ ◆⑤What's this?ゲーム ⑥オリジナルクイズを作ろう ⑦ふり返り	“What's this?” “It's a” という表現を使って友だちとやりとりしている様子を観察する。		●	
4 本 時	「クイズ大会をしよう」 ①あいさつ ②歌・ダンス ③めあての確認 ◆④クイズ大会をしよう ⑤ふり返り	自分たちで作成したクイズを出し合いながら、友だちと積極的にコミュニケーションを図ろうとしている様子を観察する。	●		

9. 教材について

Hi, friends! 1 のこの単元は、「英語ノート」の Lesson 7 と同じく、学校にあるものや各教科等の学習で使う身の回りの物などをたくさん扱っている。それらを使って、自分たちでオリジナルクイズを作成し、出題することを目標としている。今回は「作成したクイズを出したり、答えたりしながら、友だちと積極的にコミュニケーションを取ろうとする。」を最終ゴール (タスク) として設定した。このタスクを設定した理由は2つある。1つは班での交流につながるためである。クラスでは、6人又は5人を1つの班として構成している。毎日、班長を交代しみんな班を編成している。教科や総合的な学習の時間でも、この班で活動している。今回の単元を通して、様々なクイズの種類を体験し、身近な物の単語を楽しんで学べる。もう1つは、相手を意識したコミュニケーション活動を行うことを目的としている。この単元を通して、自分たちで考えたクイズを他の友だちに伝わるように発表したり、友だちの発表を真剣に聞いて答えたりすることで、相手意識をもったコミュニケーション活動を行える。

Lesson 7 では、身の回りの物のイラストがたくさんのものである。これらの単語に慣れ親しむ中で、英語と日本語の相違点や共通点に気付かせる。例えば、「ピアノ」と「piano」など外来とそのもの英語と比べることにより、日本語と英語の違いや音の違いに気付かせたい。また、cap と cup など似た音を聞いて、音の違いを楽しませたい。さらに、eraser や bat は、「消しゴム・黒板消し」、「こうもり・バット」の2種類のものをさすことなどから、言葉の面白さを感じさせたい。

10. 小中連携の視点

Hi, friend! 1 “Lesson 7 What's this?”では、学校にあるものや各教科等の学習で使う身の回りの物などの単語について慣れ親しむ。この単元の英単語は、New Crown1 Get Ready③につながる。また、本単元では、“What's this?”や“It's a”などの表現に慣れ親しむ。中学校では、New Crown1 LESSON2 My School の単元で、“This is”の文や疑問詞 what を学習する。小学校で慣れ親しんだ活動が、中学校の学習の導入に活用できる。

【第1時】			
目標：身の回りにあるさまざまな英語と日本語との違いや共通点に気付く。 教材：絵カード、デジタル教材、ふり返りカード、歌とダンス用CD			
曜日	児童の活動	HRT・AETの活動	留意点・教材等
8	<p>①あいさつ Good morning. How are you? I'm good/OK/hot. Thank you. How are you?</p> <p>②歌・ダンス 「G' Day, G' Day(by Slim Dusty)」の曲に合わせて、歌いながら、ダンスをする。</p> <p>③めあての確認 身の回りの英語を知ろう</p>	<p>Good morning. How are you? I'm good / OK / hot. Thank you. How are you?</p>	あいさつは、あいさつ。気持ちよく、手際よく。
12	<p>④聞いてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Listen p.26,27 誌面にある絵が何か、答える。 <p>同じ発音だが意味の違うもの 似ているが全く違うもの 日本語の発音と少し違うもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先生は誌面にある絵をランダムに指しながら“What's this?”と聞く。 “What's this?” “It's a”という言い方を紹介し、児童にも言わせる。 <p>bat (野球のバットとこうもり) eraser (消しゴムと黒板消し) triangle (三角定規とトライアングル) glove (グローブ) と globe (地球儀) brush (ブラシ)、frying pan (フライパン) 等</p>	<p>デジタル教材</p> <p>身の回りのさまざまな物の言い方を知り、日本語と英語の違いや共通点から言葉の面白さに気付いている。【行動観察・ふり返りカード】</p>
15	<p>⑤指さしゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> Let's Play (p.28,29) 先生が言う英語を聞いて、その絵を指さす。 	<ul style="list-style-type: none"> AET やHRT (または音声教材) が単語を発音し、児童にそれが何かを認識させる。 慣れてきたらペアで競争させてもよい。 	デジタル教材
5	<p>⑥チャンツ</p> <p>What's this? It's a mat. What's this? It's a cat. What's this? It's a cap.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音声教材に合わせて言う。 “mat” “cat” “cap”と音の重なりを意識させる。 他に、“map” “cup”などを使ってもよい。 	デジタル教材
5	<p>⑦ふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ふり返りカードに記入。 書けたら、AETの所へ。 Here you are. What's this? It's a 	ふり返りカードを受け取り、その日習った事柄に関して、児童一人ひとりと一言会話。ほめる。	

【第2時】			
目標：“What's this?” “It's a”と尋ねる言い方と答える言い方に親しむ。 教材：絵カード、クイズに必要なもの、デジタル教材、ふり返りカード、歌とダンス用CD			
曜日	児童の活動	HRT・AETの活動	留意点・教材等

8	<p>①あいさつ Good morning. How are you? I'm good / OK / hot. Thank you. How are you?</p> <p>②歌・ダンス 第1時参照</p> <p>③めあての確認 いろいろなクイズに答えよう</p>	<p>Good morning. How are you? I'm good / OK / hot. Thank you. How are you?</p>	<p>あいさつは、あいさつ。 気持ちよく、手際よく。</p>
3	<p>④チャンツ 第1時参照</p>		<p>デジタル教材</p>
30	<p>⑤いろいろなクイズに答えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> シルエット・クイズ デジタル教材または絵カードを見て、それが何かを答える。 先生は“What's this?”と尋ね、児童に“It's a”で答えさせる。 デジタル教材に収録されているシルエット・クイズ用絵カードを用いて、見せ方を工夫したり、少しずつ見せたりしながら、児童が考えられるような工夫をする。 <p>漢字クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の読みを答えた後、英語で何と言うのか考える。 (例) 「海星」…star fish, 「向日葵」…sun flower 「海月」…jelly fish, 「河豚」…blowfish / globefish <p>スリーヒント・クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> あるものについて3つのヒントを聞き、それが何かを推測して当てる。 (例) What's this? No.1 hint, a fruit. No.2 hint, yellow. No.3 hint, monkeys. (banana) No.1 hint, big. No.2 hint, black and white. No.3 hint, music. (piano) No.1 hint, a sport. No.2 hint, a ball. No.3 hint, a glove. (baseball) <p>ブラックボックス・クイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラックボックスの中に、触っても危なくない物を入れておく。 代表児童がボックスに手を入れ、物に触って何かを当てる。 最初は10秒間、次は30秒間と、触る時間を延ばす。 他の児童は“What's this?”と尋ね、代表児童は答える。 わからない場合は、“Hint, please.”とヒントを求める。 	<p>児童が正解すれば“Yes!”、違っていれば “No.”、惜しければ“Close!”など声をかける。</p>	<p>デジタル教材 絵カード</p> <p>絵カード等クイズに必要なもの</p> <p>第1時で出てきた単語 が答えになるようにす るとよい（児童に想起 させやすい、絵を見て 確認させやすい）。</p>
5	<p>⑥ふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ふり返りカードに、新しい気づき、友だちのよいところ等を書く。 書けたら、AETの所へ。 Here you are. What's this? It's a 	<p>ふり返りカードを受け取り、その日習った事柄に関して、児童一人ひとりと一言会話。ほめる。</p>	<p>単語をたずねる。</p>

【第3時】

目標：“What's this?”“It's a”という表現を用いて、友だちに尋ねたり答えたりする。
教材：絵カード、巻末絵カード、デジタル教材、ふり返りカード、歌とダンス用CD

曜日	児童の活動	HRT・AETの活動	留意点・教材等
8	<p>①あいさつ Good morning. How are you? I'm good / OK / hot. Thank you. How are you?</p> <p>②歌・ダンス 第1時参照</p> <p>③めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ペアでクイズを出し合おう </div>	<p>Good morning. How are you? I'm good / OK / hot. Thank you. How are you?</p>	<p>あいさつは、あいさつ。 気持ちよく、手際よく。</p>
3	<p>④チャンツ 第1時参照</p>		<p>デジタル教材</p>
10	<p>⑤“What's this?”ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵カードを見せ合い“What's this?” “It's a”という表現を使って友だちとやりとりをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 巻末絵カードを切り取り、ペアの間に裏返して山にしておく。 先攻の児童が1枚とり、自分に見えないようにして相手に見せ、“What's this? Hint, please.”と言う。 ペアの児童は、見せられたカードについてヒントを出す。ジェスチャーなども駆使して、相手に伝えようとする。 先攻の児童はわかったら、“It's a”と言う。正解なら“Yes!”、違っていれば“No.”、惜しければ“Close!”など言いながらゲームを続ける。 正解すれば交代する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ペアを回って、クイズを出し合えていない児童を支援する。 	<p>巻末絵カード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>“What's this?” “It's a”という表現を使って友だちとやりとりしている。【行動観察・ふり返しカード】</p> </div>
20	<p>⑥オリジナルクイズを作ろう オリジナルのクイズを作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今までに行ったクイズを想起させ、イメージをつかませる。 クイズ大会をするのに必要な表現を思い出させる。 単語や言葉がわからない場合は、HRTやAETに聞くようにうながす。 	
5	<p>⑦ふり返し</p> <ul style="list-style-type: none"> ふり返しカードに記入。 ふり返しカードに、工夫した所を書く。 書いたら、AETの所へ。 Here you are. What's this? It's a 	<p>ふり返しカードを受け取り、その日習った事柄に関して、児童一人ひとりと一言会話。ほめる。</p>	<p>What's this?と尋ねて、答える</p>

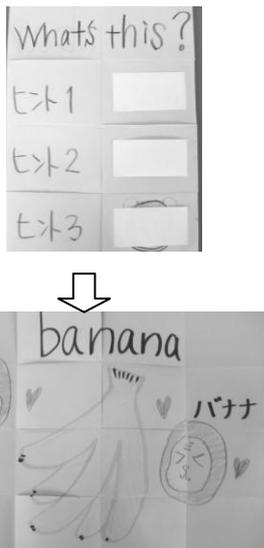
1 1. 本時の展開

【第4時】

目標：自分たちで考えたクイズを他の友だちに伝わるように発表したり、友だちの発表を反応しながら聞いて答えたりする。

教材：絵カード、子どもたちが作成したオリジナルクイズ、ふり返しカード、歌とダンス用CD

曜日	児童の活動	HRT・AETの活動	留意点・教材等
----	-------	------------	---------

8	<p>①あいさつ Good morning. How are you? I'm good / OK / hot. Thank you. How are you?</p> <p>②歌・ダンス 第1時参照</p> <p>③めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">クイズ大会をしよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 大事なポイントを確認 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工夫しながら友だちに伝える。 ・ 友だちの発表を反応しながら聞いて答える。 </div>	<p>Good morning. How are you? I'm good / OK / hot. Thank you. How are you?</p>	<p>あいさつは、あいさつ。 気持ちよく、手際よく。</p>																		
32	<p>④クイズ大会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “What's this?”クイズの発表練習 ・ 前時に作成した3ヒントクイズを使ってクイズ大会をする。(下記写真) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;">A(出題者) : Are you ready?</td> <td style="width: 50%; padding: 2px;">B(発表者) : Yes!</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A : What's this?</td> <td style="padding: 2px;">B : Hint, please!</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A : Hint 1,(ふせんを外しながら)</td> <td style="padding: 2px;">B : Hint, please!</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A : Hint 2,(ふせんを外しながら)</td> <td style="padding: 2px;">B : Hint, please!</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A : Hint 3,(ふせんを外しながら)</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A : What's this?</td> <td style="padding: 2px;">B : (手を挙げる)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A : (手を挙げている人を当てる)</td> <td style="padding: 2px;">B : It's a</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A : (正解) Yes, that's right. (おいしい) Close! (間違い) No!</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A : (下記写真の用紙を広げる) It's a That's all.</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> </table> </div> <p>(全員)これで○班の発表を終わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級の班を前半3班と後半3班に分ける(以下、6班を想定)。 ・ 教室はできればランチルームなどの広い教室を使用する方がよい。 ・ 教室の前 後ろ 中央に出題ブースを設け、準備する。 ・ クイズ大会(前半)スタート。後半の班はクイズを聞いて答える。 ・ 出題側は“Yes.” “No.” “Close.”など声をかける。日本語で出題してもよい。 ・ 解答側は間違ってもよいので、はっきり伝えるようにする。 ・ 終わった班は、良かったところを伝え合って待つ。 ・ 時間がきたら、一度集まる。 ・ 全体で、前半の班のよかったところや課題を交流する。 ・ 後半の意識する視点を確認して、後半のゲームを始める。 <p>・後半が終わったら、全体で交流する。</p>	A(出題者) : Are you ready?	B(発表者) : Yes!	A : What's this?	B : Hint, please!	A : Hint 1,(ふせんを外しながら)	B : Hint, please!	A : Hint 2,(ふせんを外しながら)	B : Hint, please!	A : Hint 3,(ふせんを外しながら)		A : What's this?	B : (手を挙げる)	A : (手を挙げている人を当てる)	B : It's a	A : (正解) Yes, that's right. (おいしい) Close! (間違い) No!		A : (下記写真の用紙を広げる) It's a That's all.		<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生は、各ブースを回って、児童の支援を行う。 	<p>子どもたちが作成したオリジナルクイズ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自分たちで作成したクイズを出し合いながら、友だちと積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。【行動観察・ふり回りカード】 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px auto;">  </div>
A(出題者) : Are you ready?	B(発表者) : Yes!																				
A : What's this?	B : Hint, please!																				
A : Hint 1,(ふせんを外しながら)	B : Hint, please!																				
A : Hint 2,(ふせんを外しながら)	B : Hint, please!																				
A : Hint 3,(ふせんを外しながら)																					
A : What's this?	B : (手を挙げる)																				
A : (手を挙げている人を当てる)	B : It's a																				
A : (正解) Yes, that's right. (おいしい) Close! (間違い) No!																					
A : (下記写真の用紙を広げる) It's a That's all.																					
5	<p>⑤ふり回り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふり回りカードに記入。 ・ 書けたら、HRT or AET の所へ。 Here you are. What's this? It's a 	<p>ふり回りカードを受け取り、その日習った事柄に関して、児童一人ひとりと一言会話ほめる。</p>																			